

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局TEL053(463)4312 みかん薬局TEL053(584)2230 いちご薬局TEL055(946)6430

新型コロナウイルスワクチン④

～高齢者対象接種はじまりました～

市町村ごとに高齢者対象にコロナワクチン接種券の発送が開始されました。
お手元に届きましたか。

インターネットや電話を利用した予約など地域ごとの手続きが必要です。

今回は接種にあたっての注意事項とその対応方法、コロナウイルス変異株、日本での
コロナワクチン開発状況を紹介します。

1 接種の注意事項

受けることができない人

- ・明らかに発熱している人(※1)
- ・重い急性疾患にかかっている人
- ・本ワクチンの成分に対し重度の過敏症(※2)の既往歴のある人
- ・上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

(※1) 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

(※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

注意が必要な人

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害(血友病など)のある人。接種部位の出血が止りにくくなることがある。⇒**注射部位を5分程度おさえておく必要があります。**
- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・過去に予防接種を受けて、接種2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人。・本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人⇒**接種後30分くらいはその場で様子を見て下さい。その日は一人でいないようお願いします。**

接種当日の注意事項

- ・接種前に、ご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、接種を受ける予定の施設にご連絡ください。
- ・ワクチンは、通常、三角筋(上腕の筋肉)に接種するため、肩の出しやすい服装でお越しください。

厚労省Q&Aより

予約時間は密を避けるため早く行き過ぎないこと。
施設によってはトイレが不便です



2 新型コロナウイルスの主な変異株

国内で最も多く見つかった英国株や南アフリカ株のほかインド株など7種の変異株について裏面に記載しました。



新型コロナウイルス変異株

	主な変異	感染性（従来比）	重篤性（従来比）	再感染やワクチン効果（従来比）
英国株	N501Y	1.32倍と推定 （5～7割程度高い可能性）	1.4倍（40-64歳1.66倍） と推定※（入院・死亡リスクが高い可能性）	効果に影響がある証拠なし
南アフリカ株	N501Y E484K	5割程度高い可能性	入院時死亡リスクが高い可能性	効果を弱める可能性
ブラジル株	N501Y E484K	1.4～2.2倍高い可能性	重篤度に影響がある証拠なし	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染事例の報告有
フィリピン株	N501Y E484K	高い可能性	重篤度に影響がある証拠なし	効果を弱める可能性
インド株	L452R （E484Q）	高い可能性	重篤度に影響がある証拠なし	ワクチンと抗体医薬の効果を弱める可能性

厚労省HPより※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの

変異株はみな感染力が強いです。各地で変異株が急速に広がっています。人と接する場合は、マスクは不織布マスクを使用し、顔に密着するようにしてください。また、部屋の換気を必ず行いましょう。

3. 国内でのワクチン開発状況

日本ではコロナワクチンの開発に出遅れている状態です。その原因は3つ考えられます。

- ①日本は1948年制定の予防接種法により天然痘などワクチン接種は「怠ると罰則がある義務接種」でした。その後1976年頃には予防接種による健康被害が問題となり訴訟も多くおきました。そのため「罰則なしの義務接種」になりました。さらに感染患者が激減した1994年には「努力規定」へと変更され、集団接種からかかりつけ医が個人の健康をチェックした上で接種する個別接種に変更されました。日本のこの流れに対し世界からは「ワクチンへの拒絶反応が大きい国」と言われるようになりました。2000年になると、ワクチンギャップ（先進諸国と比べてワクチンの種類が少ないこと）が問題視されるようになりました。
- ②ワクチンの開発企業の減少です。ワクチンは生産コストなど負担割合が高く、高度な生産施設を要することから採算性を考えると、企業として儲からないことや感染症の減少や少子化で開発企業が減っています。
- ③日本のワクチン開発資金は米国などに比し10分1です。諸外国は国を挙げて官民協力し必死に開発努力しています。国民の命をすくうための危機管理が必要ですが政府の取組が弱いのが現状です。

コロナワクチン開発の進捗状況（国内開発）主なもの

	基本情報	取り組み状況
塩野義製薬 感染研/UMNファーマ 組換えタンパクワクチン	ウイルスのタンパク質（抗原）を遺伝子組換え技術で作成し人に投与	第Ⅰ/Ⅱ相試験開始（2020.12）
第一三共 東大医科研 mRNAワクチン	ウイルスのmRNAを人に投与 人体の中でウイルスタンパク質（抗原）が合成される	第Ⅰ/Ⅱ相試験を開始 （2021.3）
アンジェス 阪大/タカラバイオ DNA]ワクチン	ウイルスのDNAを人に投与人体の中で、DNAからmRNAを介して、ウイルスのタンパク質（抗原）が合成される	第Ⅰ/Ⅱ相試験を開始（大阪市立大・大阪大） 第Ⅱ/Ⅲ相試験（東京、大阪の8施設）
KNバイオロジクス 東大医科研/感染研/基盤研 不活化ワクチン	不活化したウイルスを人に投与（従来型ワクチン）	Ⅰ/Ⅱ相試験を開始 （2021.3）

参考資料：厚労省HPコロナワクチン開発より

5月20日 新たにモデルナ社（mRNAワクチン）とアストラゼネカ社（ウイルスベクターワクチン）のワクチンも厚労省で承認されました。しかし、アストラゼネカのワクチンはまれながら、接種後血栓を起こしたケースが報告され、亡くなった人もいます。このワクチンを国内でどう使うかは、厚生労働省の部会で決めていくことになると報告されています。

医療用サイト朝日新聞5月20日掲載内容から